

令和6年度エコ事業所表彰(令和5年度取組結果分) 審査基準と審査委員長コメント

1 審査基準

(1)電気使用量の削減部門

電気使用量の削減による CO2 排出量の削減率や実施された取組等を勘案の上、削減率の高い事業所を選定。

(2)自動車燃料使用量の削減部門

自動車燃料使用量の削減による CO2 排出量の削減率や実施された取組等を勘案の上、削減率の高い事業所を選定。

(3)その他の地球にやさしい(環境に配慮した)活動部門

創意工夫されている、組織内で浸透している、継続性がある、地域との関わりが深い等の観点から、他の模範となる取組を実施した事業所を選定。

2 被表彰事業所

別紙「令和6年度エコ事業所表彰(令和5年度取組結果分)被表彰事業所一覧」のとおり。

3 審査委員

	氏名	所属等
委員長	永田 隆憲	一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長
委員	加藤 尊秋	北九州市立大学国際環境工学部 教授
//	新 博司	福岡県地球温暖化防止活動推進センター長
//	吉川 泰彰	福岡県環境部環境保全課長

4 審査委員長コメント(一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 永田 隆憲事務局長)

(1)総評

事業所における省エネルギー・省資源の取組は、環境保全への貢献だけでなくコスト削減にもつながり、経営面でもメリットがあるものです。

現在、約 2,600 の事業所が省エネルギー・省資源に取り組む「エコ事業所」にご登録いただいています。

被表彰事業所の選定を行うにあたっては、業種・規模に関係なく全ての事業所を対象としているため、各事業所の取組内容や結果を一律に評価することは困難でありましたが、「電気使用量の削減部門」及び「自動車燃料使用量の削減部門」については、取組内容を勘案のうえ、CO2 排出量の削減率が高い事業所を選定しました。

また、「その他の地球にやさしい(環境に配慮した)活動部門」については、活動によるCO2 削減効果や継続性、他の事業所の参考となる創意・工夫があるか等の審査基準に基づき審査を行い、優秀な活動を実践していると認められる事業所を選定しました。

今回、選定された事業所においては、事業所の代表者のみならず、全従業員の方のご理解とご協力により、省エネルギー・省資源の取組を効果的に進められていたと思います。

受賞された事業所の皆様のご努力に敬意を表しますとともに、被表彰事業所の取組を参考に、県内の事業所の省エネルギー・省資源の取組が今後益々広がり、ひいては脱炭素社会の実現に繋がることを願っております。

(2)各部門の最優秀事業所の評価

ア 電気使用量の削減部門

事業所名	萩原保育園〔北九州市〕
評価	教室の利用方法の見直しによる空調稼働時間の削減や各クラスにおける節電などの取組により、電気使用量を大きく削減していることを評価しました。

イ 自動車燃料使用量の削減部門

事業所名	ビルドリペア技研工業株式会社〔北九州市〕
評価	ハイブリッド車の導入や急発進及び急停止の防止などの取組により、ガソリン使用量を大きく削減していることを評価しました。

ウ その他の地球にやさしい(環境に配慮した)活動部門

事業所名	エフコープ生活協同組合〔篠栗町〕
評価	再エネ 100 宣言 REAction への参加やペーパーレス、DX 推進、廃棄物の3R 促進など、多岐に渡る取組を実施していること

	を評価しました。
--	----------